

JBAバイオエンジニアリング研究会

Circular economy を実現するバイオエンジニアリング ～シングルユース技術の環境負荷を考える

SDGsが語られる社会において、バイオ産業における廃棄物の問題は今後ますます重要になる。Cytivaの資料にあるように、シングルユース技術のみに着目すると、意外なことに、環境負荷の観点からはシングルユース技術は従来技術に比べてむしろ環境に優しい技術と言えるかもしれない。シングルユースの環境負荷への影響について考えることを手始めとして、シングルユース技術だけでなく、様々なバイオエンジニアリング関連の新技术を環境負荷という視点で眺めることは、今後の研究会の継続的なアクティビティとして重要な取り組みになり得るであろう。

開催日時：2021年12月22日（水）14時～16時30分

【ご講演30または20分+質疑応答10分×3題、総合討論40分】

セミナー形式：MS-Teams会議（定員120名、JBAwebページにて受付）

主催：（一財）バイオインダストリー協会

協賛：日本生物工学会、化学工学会バイオ部会、日本動物細胞工学会 後援：日本農芸化学会（予定）

シングルユースとサステナビリティ～LCAツールを用いた継続的な研究

渡辺 久美子氏（Cytiva（サイティバ）プロダクトマーケティング）

LCA(ライフサイクルアセスメント)を含めたシングルユース技術の評価

杉山 弘和氏（東京大学 大学院工学系研究科化学システム工学専攻 教授）

中外製薬の環境課題の取り組み

筆坂 将人氏（中外製薬工業（株）デジタルエンジニアリング部 環境設備G）

パネルディスカッション

ファシリテーター：開田 強 氏（サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)

バイオプロダクション事業部)

渡辺 久美子氏、杉山 弘和氏、筆坂 将人氏、田原 直樹氏（日揮(株)プロジェクト

ソリューション本部 ライフサイエンスソリューション部 バイオスペシャリスト)

MS-Teams会議：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2021年12月20日（月）17時

お問合せ：（一財）バイオインダストリー協会（担当：橋本、渡邊、岸本、矢田）